

チーム福島高専の在り方（事業概要）

学生指導支援にあたっては、教職員が個々に対応するだけではなく、各種専門人材も含めたチームとして対応することが重要とされています。

学生の問題行動、例えば暴力やいじめや不登校の背景には、心の問題が隠れていると考えます。

現場で、より効果的に対応するには教員に加え、地域のスクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）を活用し、学生たちの様々な情報を整理統合し、アセスメントやプランニングをした上で、チームとして問題を抱えた学生の支援を行うべきであると考えます。

特に家庭の問題に立ち入るのは、教員以外の地域人材の方が有効な場合があります。教室で顔を合わせている担任、あるいは授業担当の教員が介入してくるのは、学生にとっても保護者にとっても、戸惑うケース（貧困や虐待等）があります。

これらを考慮し、第三者的なSSWに介入してもらい、学生の家庭と必要な関係機関との間で、緊密な連携を取れるよう仲介してもらうことで、教員が不慣れな手続きに時間を取られることもなく、不十分な対応で学生や保護者に不満を持たれることもなくなります。

この様に、各種専門人材を含めチームで対応することが「チーム福島高専」の在り方と考えます。

「チーム福島高専」ポンチ図

